

## 家の光文化賞

### 3 J A決まる

家の光協会は、優れた教育文化活動に取り組むJ Aをたたえる第73回家の光文化賞にJ Aさいたま、神奈川県J A相模原市、宮崎県J Aえびの市が決まったと発表した。2022年度家の光文化賞促進賞には、J A京都市中央を選んだ。

J Aさいたまは、男女共同参画に積極的に取り組み、女性の運営参画には数値目標を導入し成果を上げる。生活文化活動のさまざまな場面で「家の光」を中心教材とし、記事活

用グループの参加人数は2500人に上る。

J A相模原市は、正組合員・総代・非常勤理事に占める女性の比率がいずれも全国平均を上回る。「ちやぐりん」の小学校への寄贈、高校・大学と連携した食農教育など、地域に根差した教育文化活動を展開している。

J Aえびの市は、教育文化活動推進委員会を立ち上げ、各課・支店が連携できる体制をとる。女性部による生活文化教室や教養講座といった取り組みが多い他、直売・加工グループも活発に活動している。